

# ESD推進に向けた 地(知)の拠点である大学の取組みと可能性



沖縄から日本、アジア、世界へ挑む人になる。  
琉球大学。

琉球大学の5つの魅力

大島 順子

(琉球大学観光産業科学部, ESD-J理事)

# 琉球大学の魅力をあらわす 5つのキーワード

## 1 沖縄・日本・アジア・ 世界が見渡せる大学

アメリカの州立大学を原型とする琉球大学は、創立時からグローバルな環境にあり、学生は日々のキャンパスライフを通じて、沖縄から日本へ、アジアへ、世界へ繋がる視野を広げていくことができます。

## 2 世界各国・日本全国から 人々が集う“Diversity”

国内外から学生が集まる琉球大学は、キャンパス内でさまざまな文化交流ができるなど、多様性(Diversity)あふれる大学です。その刺激は強く、学生の個性を伸ばす“成長エンジン”になっています。

## 3 沖縄の自然を活かした 特色ある学びの数々

亜熱帯環境にある琉球大学ではフィールドワークをはじめ、キャンパスの内外に広がる豊かな自然を活かした数々の学びに取り組めます。それらは琉球大学でしか得られない、体験型の学びでもあります。

## 4 力強い“人間力”を鍛える 総合大学ならではの日々

沖縄県唯一の国立大学、琉球大学は文系・理系あわせて7学部を有する総合大学です。学部の枠組みをこえた学びや沖縄ならではの共通教育等科目も多く、社会が求める人間力の鍛錬につなげています。

## 5 自己錬磨を通じて養う やわらかな思考力

自分自身で考え、学びの本質をつかみとるため、学生には厳しい自己錬磨を課しています。そうして磨かれた知性と個性を土台に、沖縄ならではの“やわらかな思考力”を養うのも琉球大学の魅力です。



# URGCCで地域と世界のかげ橋となる人材の養成

(University of the Ryukyus Global Citizen Curriculum:  
琉球大学グローバルシチズンシップカリキュラム)

## 【URGCCの7つの学習教育目標】

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーションスキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

# 琉球大学の取組み

## ■ 第1期（2000年～2005年）

地域社会に存在する大学として環境配慮活動を行うことの学内における意識啓発と合意形成

## ■ 第2期（2006年～2009年）

環境マネジメントシステム（EA21）の導入による活動の具現化と実質化

## ■ 第3期（2010年～現在）

環境教育と地域連携活動の推進と拡充～ESDへ

# ■ 第1期（2000年～2005年）



## 意識啓発と合意形成

- 琉球大学エコロジカル・キャンパス推進委員会の発足
- 2001年6月 琉球大学環境宣言  
環境憲章・環境行動計画・実施組織の制定
- 環境行動計画にて5分野でPDCAサイクル化を提案

- ① 環境教育を柱としたカリキュラムの整備
- ② 島嶼・亜熱帯地域の生態系及び人間活動に関する学際的学術研究の推進
- ③ 環境を切り口としたコミュニケーションの活発化
- ④ 緑豊かで美しいキャンパス景観の創造
- ⑤ 環境マネジメントシステムの構築

## ■ 第2期（2006年～2009年）

### 環境マネジメントシステム（EA21）の導入

- 2007年5月本部事務局 & 図書館から順次対象範囲を拡大し、2009年全組織が導入
- ごみ分別とリサイクルの徹底
- 生ごみの量が激減した大学祭  
2002年：205kg → 2008年：43kg
- 2008年「総合環境学副専攻」の設立



## ■ 第3期（2010年～現在）

### 環境教育と地域連携活動の推進と拡充

- ESD始動に向けての検討開始  
2011年8月ESD推進WGの立ち上げ
- エコロジカル・キャンパス学生委員会活動を通じたESDの推進
- 環境人材育成奨学金の設置
- 文部科学省の大学COC事業「地（知）の拠点整備事業」の補助事業の採択

# ESDリーダーシップセミナーの開催

2012年12月8～9日

@国頭村環境教育センターやんばる学びの森

教育

【主催】

琉球大学学生課

【場所】

沖縄島北部(やんばる)

【目的】

- 学生のESDに対する理解を深める
- やんばるの森・生物多様性・資源の利活用といった視点から持続可能な社会のあり方を学際的に考え、自分の専門分野での就学に活かす





インタープリターを通して  
自然を体験し、学ぶ



やんばると自分とのつながりを  
理解するワークショップ



森の管理について  
学び、共有する



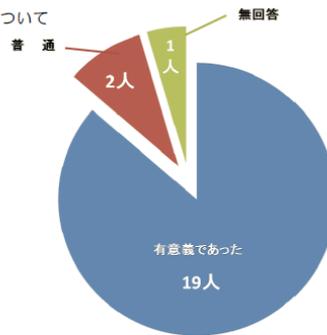
植林実習で土にふれる



*Side Event, Expert Conference on Development of Island's Sustainable Societies (2014)*



セミナーまとめ  
「ESDに取り組むはじめての一步」について



• “ESDとは何か”初めて知ることができた。今日、自分で掲げた目標を達成できるように頑張りたい。

- 木と会話ができた。
- 自然保護活動に参加していると実感が湧いた。

• “教わり、気づき、どのように行動するか考える”1泊2日の短い期間にたっぷり出来た。

• 土を直接触ることで、感じるものがたくさんあった。

• ESDには幅広い分野があり、物事をいろいろな角度から見る重要性を感じるとともに、ひとつの視点でもあらゆることを学べるのだと思った。

• 初めて学ぶESDについて、皆とディスカッションをしてワクワクした。

引用:参加者アンケート結果より

# ■エコロジカル・キャンパス学生委員会の活動支援



視察研修を通して社会における環境活動の動きを知る



他大学の学生から刺激を受ける



他大学の学生委員会との交流とネットワークの推進





仮設所における傾聴ボランティア



被災地に赴き、現状を見て感じ、学ぶ

2014年2月  
東日本大震災における被災地・南相馬市での  
研修

南相馬市の地震、津波、原発被害の現状を現地  
に赴いて学び考え、沖縄に住む私たちの防災・減  
災やエネルギー利用について自分にできることを  
考え、行動する機会を得ることを目的として実施



ふりかえりのワークショップ

# ■エコロジカル・キャンパス学生委員会の活動支援



春の  
**キャンパスエコツアー**  
in 琉球大学  
5月12日(月)~16日(金)  
日時 13:00~14:00  
(13:00図書館前集合)

いつもは絶対に入ることのできない  
学内の施設を私たちがご案内します！  
ぜひこの機会に大学で行われている環境に  
配慮した取り組みを見に行きませんか？  
どなたでも参加OKです☆

参加ご希望の方はこちらへ  
Mail: [ecocan.ryukyu@gmail.com](mailto:ecocan.ryukyu@gmail.com)

エコロジカル・キャンパス学生委員会

琉球大学エコロジカル・キャンパス学生委員会(通称「EcoCan」)は学内における環境に配慮した取り組みを知り、身近な環境問題に対する意識を高め、具体的に行動することで快適なキャンパスを目指した活動を行っています。

学生による、学生を対象とした、大学の環境に配慮した活動を知ってもらうことをねらいとしたキャンパスエコツアーの実施

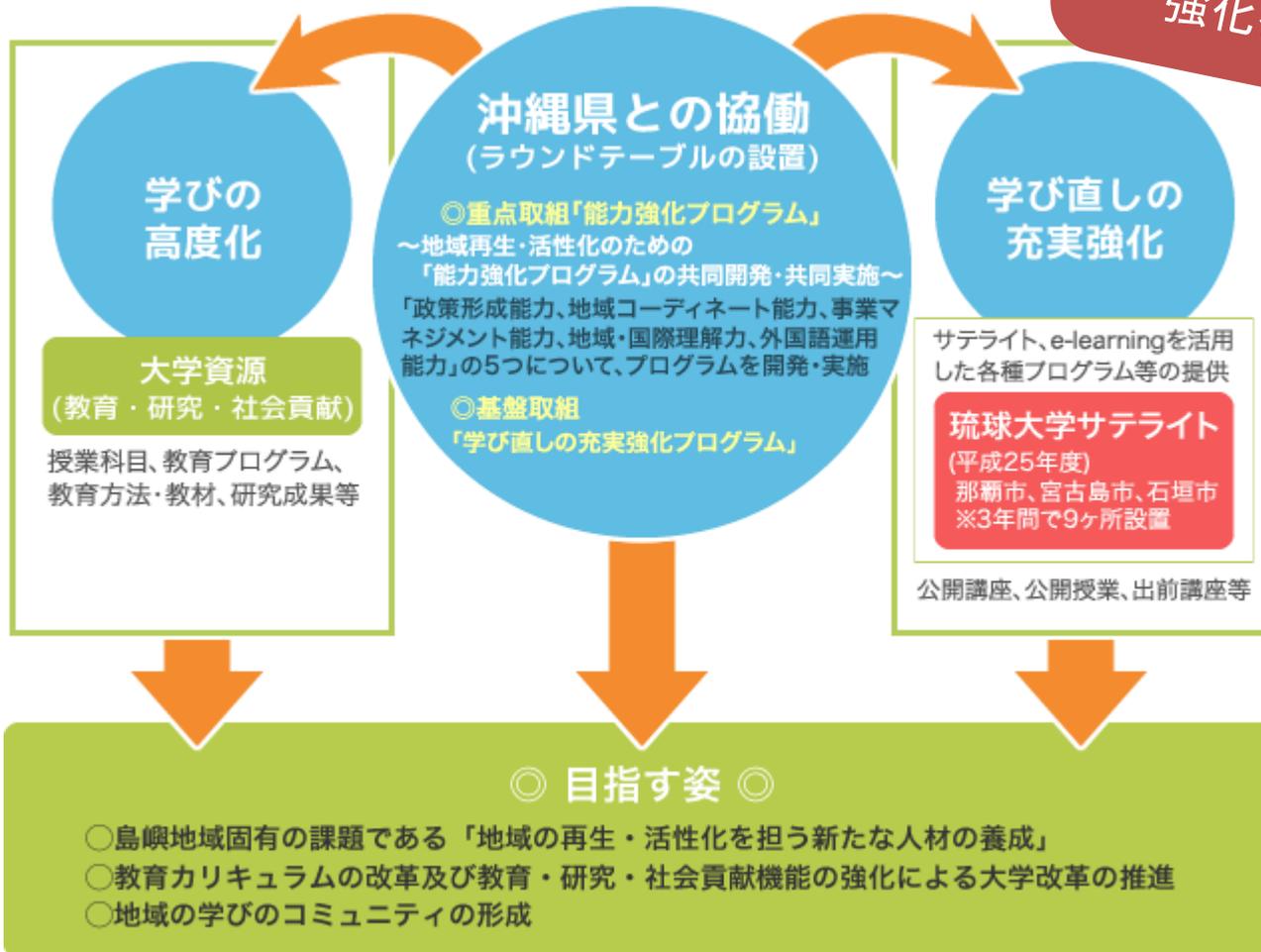


# 文部科学省の大学COC事業「地(知)の拠点整備事業」補助事業の採択・実施

琉大コミュニティキャンパス (RCC) 事業の推進

## ちゅら島の未来を創る知の津梁

地域が直面する諸課題に取り組む地域コミュニティの中核的存在として機能強化を図る大学へ



# 沖縄県における高等教育の現状



東西1000km、南北400kmの海域に点在する49の有人島



沖縄県には、11もの高等教育機関があるが、そのすべてが沖縄本島に集中している。

**国公立大学等:** 琉球大学、県立看護大学、県立芸術大学、名桜大学、沖縄高専

**私立大学:** 沖縄科学技術大学院大学、沖縄国際大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学

**短期大学:** 沖縄キリスト教短期大学、沖縄女子短期大学

## 地域の課題

= 島嶼地域固有の課題の克服 <沖縄21世紀ビジョン基本計画>

学びの高度化と学び直しの機会拡充についての  
空間的・時間的制約

リビングコスト・教育コスト高の経済的制約

地域の再生・活性化を担う人材の確保が難しい！

急務

人材育成の“場”の創出

高い実践能力を持った人材を育成する為の  
仕組み構築

地域の自治体及び産業界等と連携・協働して新たな取組を地域とともに展開し、  
「地域の再生・活性化を担う新たな人材」を養成

「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)

琉大コミュニティキャンパス(RCC)事業の展開

# 地域再生・活性化のための「能力強化プロジェクト」概要

本事業における人材育成目標

「地域・国際性」「コミュニケーション・スキル」「問題解決力」

強化すべき具体的能力

＜特に、自治体職員に求められる能力＞

政策形成能力、地域コーディネート能力、事業マネジメント能力、  
地域・国際理解力、外国語運用能力

沖縄県との協働

ラウンドテーブル

琉大の教育研究資源

授業科目、教育プログラム、教育方法・教材、研究成果、共同研究・受託研究、公開授業、施設・設備、etc

自治体と大学が共同で開発

能力強化プログラム

- ・自治体等：人材育成に関する新たな方法の獲得
- ・大学：新たな教育研究資源（より実践的なプログラム等）の獲得

生涯学習力の向上・強化

サテライト／eラーニングを活用した能力強化プログラム（履修証明プログラム、等）の提供  
→ 学習機会の拡充・内容強化

学びの高度化（能力の強化）

教育カリキュラム・教育組織等の改革

キャリア教育等の強化

学び直しの機会拡充

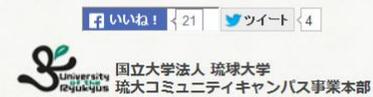
能力強化プログラムの共同実施（参加・参画）

地域再生・活性化を担う最前線の人材の創出

大学資源を活用し、県と協働で、「政策形成能力、地域コーディネート能力、事業マネジメント能力、地域・国際理解力、外国語運用能力」の5つについて、プログラムを開発・実施

2014年6月現在

# サテライトキャンパス構想 3か所(那覇市内・宮古島市内・石垣市内)設置



学長あいさつ

事業概要

教育

研究

社会貢献

琉球大学  
公式ホームページ

関連自治体



ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)



お知らせ [お知らせ一覧](#)

2014.05.26 [満員御礼那覇キャンパス開設...](#)

2014.05.23 [「那覇キャンパス開設式典」開催...](#)

2014.05.16 [「宮古島キャンパス・石垣キャンパス」両開設式典を開催...](#)

2014.03.31 [リーフレットできました！\(琉大コミュニティキャンパス事業\)...](#)

2014.02.17 [看板上掲式を開催「琉大コミュニティキャンパス事業本部\(RCC事業本部\)」...](#)

**地(知)の拠点**  
事業概要



**学長あいさつ**

地域から顧られる大学づくり



**アクセスマップ**

各キャンパスの地図

